



被災地への 支援を続けます。

被災した産地・メーカーの復興を
応援しました。

食の未来づくり
利用することで
復興を応援!

岩手県産の内厚でやわらかな東都生協オリジナルの塩わかめです。塩抜きしてご使用ください。塩分30%前後。

東日本大震災から1年6カ月
東都生協の組合員のみならず、職員のみならずには、たくさんのお見舞い、贈り物、慰問のお言葉をいただき感謝しています。東日本大震災から1年6カ月が経過し、被災した工場をようやく再建することができました。社員一丸となって、品質の良いおいしい岩手県産のわかめをお届けしますので、楽しみに待っていてください。

(有)本多商店
代表取締役 本多 芳彦

祝! 東都わかめ復活!
新工場が
できました!

2012年7月、本多商店の復興を応援するため、組合員とその家族25名が建築中の工場を訪れました。(岩手県大船渡市)

東都わかめ
80g **350円**(税別334円)
(本多商店 巻50日産産 60)

岩手県産のわかめが戻ってきました!

震災後お届けすることができなかった「東都わかめ」が復活しました。



寄贈した大漁旗は、地元(魚つきの森植樹協議会)の運動会で披露されました。

炊き出しなど復興支援活動

産地・メーカーの協力を得て、被災地での炊き出し支援を続けました。また、「東京災害ボランティアネットワーク」を通じた支援活動も続けました。

**ありがとうの
メッセージが届きました。**

被災メーカーの復興サポート基金

東都生協は、被災地への復興支援活動に積極的に参加し、被災地からの感謝の声を届けてきました。

東都生協の支援は 現地でもとても 感謝されていました

被災に対する支援にはいろいろな取り組みがあると思いますが、これまでの産地とのつながりと、流通業としての強みを支援の形にしているのは素晴らしいと思いました。復興に向けた支援はまだまだ必要です。できることをみんなで考えましょう。

被災産地・メーカー
応援企画に参加した
組合員の声より。

被災取引先にギフトを贈る 取り組みを続けました。

被災地からのありがとうの聲が届きました。



がんばろう! 東北復興支援 被災地域物産展

食の未来づくりフェスタでは、復興物産品を販売するコーナーを設置し、組合員、職員、メーカーと一緒に販売を行いました。

「安心して住める「福島」 を取り戻すための署名」 には24,461筆が集まり、福 島県生協連に届けました。

商品を購入しての支援



このマークがついている商品を組合員が購入すると、1点につき1円が募金になります。

12月20日現在1,807,068円の募金になりました。

東日本大震災支援募金

2012年度 募金お預かり額
(12月20日現在) 4,972,802円

2011年度からの
総額は83,032,000円

募金の活用

お預かりした募金は、炊き出しなどの東都生協独自支援活動(東都生協の職員などが、「魚つきの森植樹協議会」産地である宮城県漁協表浜支所の近隣地区を訪れ、継続して炊き出し・交流や支援物資の提供を行っています。)の資金とする他に、次の企画に配分しました。

「東京災害ボランティアネットワーク」へ 50万円

避難所支援、仮設住宅で暮らす方々の支援に取り組んでいます。東都生協もその参加団体として、組合員・職員を派遣してきました。

「思い出作り=心の支援活動」(みやぎ生協) 30万円

被災児童生徒への心理ケアの1つとして、楽しい心に残る体験(遊園地や工場見学・農業体験)を企画するための義援金です。

「つながろうコープアクション
くらし応援募金」 30万円

日本生協連が呼び掛けて、被災者のくらし復興に向けた取り組み(福島の子ども保養プロジェクト、学校図書館げんきプロジェクト、安心して住める「福島」を取り戻すための募金活動など)を支援しています。

「被災地移動販売車募金」
(いわて生協) 100万円

被災地域での買い物支援のために移動販売車を購入・運行するための募金です。